

船舶事故等調査報告書

平成27年7月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|             |  |
|-------------|--|
| 事故等番号       | 2015仙第17号  |
| 事故等種類       | ほたて養殖施設損傷  |
| 発生日時        | 平成27年3月12日 00時10分ごろ  |
| 発生場所        | 青森県むつ市浜奥内漁港南西方沖<br>浜奥内港第1西防波堤灯台から真方位218° 2.4海里付近<br>(概位 北緯41° 10.20' 東経141° 13.50')  |
| 事故等調査の経過    | 平成27年3月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。   |
| 事実情報        |  |
| 船種船名、総トン数   | 貨物船 <sup>エンジェル</sup> ANGEL-A (カンボジア王国籍)、2,977トン  |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 8805054 (IMO番号)、FEDERAL LINE CRUISER SA  |
| 乗組員等に関する情報  | 船長（ロシア連邦籍）、免状不詳  |
| 死傷者等        | なし   |
| 損傷          | 本船 なし<br>養殖施設 11か統が損傷  |
| 事故等の経過      | 本船は、船長ほか13人（ロシア連邦籍）が乗り組み、ロシア連邦プラスタン港に向けて航行中、荒天避難のため青森県陸奥湾に緊急入域し、浜奥内漁港南西方沖において、両舷錨を投じて双錨泊とした。<br>本船は、平成27年3月11日23時00分ごろ、船長が走錨していることに気付き、主機を始動させて揚錨し、転錨を試みたが、風に圧流され、再び、両舷錨を投下したものの、12日00時10分ごろほたて養殖施設に進入し、両舷錨鎖に同施設のロープが絡まり、同施設が損傷した。<br>本船は、揚錨不能となって、自力航行ができなくなり、タグボートに引き出され、18日09時03分ごろ、自力航行して青森県青森市青森港に着岸した。 |
| 気象・海象       | 気象：天気 雪、風向 西南西、風力 6、視界 不良<br>海象：波高 約1.5m、潮汐 低潮時<br>津軽海峡には、3月11日20時35分に海上強風警報が、むつ市には、11日22時38分に風雪、大雪及び波浪注意報がそれぞれ発表されており、本事故当時も継続中であった。  |
| その他の事項      | 本船が錨泊した場所は、水深が約30～40mで、底質が泥であった。   |
| 分析          |  |
| 乗組員等の関与     | あり   |
| 船体・機関等の関与   | なし   |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <p>気象・海象等の関与<br/>判明した事項の解析</p> | <p>あり</p> <p>本船は、浜奥内漁港南西方沖で双錨泊中、走錨したので、揚錨して転錨しようとしたところ、西南西風に圧流されたことから、ほたて養殖施設に進入し、両舷錨鎖に同施設のロープが絡まり、同施設が損傷したものと考えられる。</p>    |
| <p>原因</p>                      | <p>本事故は、夜間、本船が、浜奥内漁港南西方沖で双錨泊中、走錨したので、揚錨して転錨しようとしたところ、西南西風に圧流されたため、ほたて養殖施設に進入し、両舷錨鎖に同施設のロープが絡んだことにより発生したものと考えられる。</p>        |
| <p>参考</p>                      | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 錨泊場所及び気象状況に応じた錨泊法、錨鎖伸出量とすること。</li> </ul> |